

令和2年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 3 年 6 月 7 日 作成

事務事業名		止水板設置費補助金交付事業			外部評価の状況	事務事業No.	614 - 40				
					なし						
1. 基本情報											
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名					
総務部	防災安全課	防災係	主任	近藤 由佳	課長	白石 善彦					
施策体系	総合計画	政策	6	都市基盤・生活基盤							
		施策	1	災害・減災対策の充実							
		基本事業	4	防災・減災対策の推進							
	その他の計画	個別計画	なし								
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市止水板設置費補助金交付要綱										
事業開始年度	令和2年度	事業終了年度	令和4年度	事務事業類型	ソフト事業						
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	令和2年度～令和4年度						
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）											
概要	建物等への浸水被害を軽減するため、止水板等の施設を設置する場合に、費用の補助を行うもの										
対象	働きかける相手・もの	市内の住居及び事務所等									
手段	方法・働きかけ（活動指標）	止水板設置費用の補助金の交付及び広報									
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	止水板設置補助金制度の周知を図り、止水板の設置に繋げる									
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）											
	指標名	単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込				
	各種広報媒体への掲載	回数	市報、隣組回覧、HP、SNS等		-	7	9				
	相談件数	件	相談件数		-	10	30				
	止水板設置費補助金申請件数	件	止水板設置費補助金申請件数		-	2	10				
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）											
指標	止水板設置件数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込				
		件	10	目標値	-	10	10				
説明	補助金申請数が目標値（設置数が実績のため、毎年変動）	方向性	達成目標年度	実績	-	2					
		増加	毎年度	達成率	#VALUE!	20.00%					
指標	相談に対する理解度	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込				
		%	100	目標値	-	100	100				
説明	止水板設置費補助金についての相談に対して理解いただいた割合	方向性	達成目標年度	実績	-	100					
		増加	令和4年度	達成率	#VALUE!	100.00%					
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込				
				目標値							
説明		方向性	達成目標年度	実績							
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!					
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）											
予算科目・事業	会計	01 一般会計	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費			
	大	02 防災事業費	中	28 止水板設置費補助金交付事業費	他	0 事業					
投入人員 （当該事務事業に対して1年間に投入した人員）	区分(R1まで)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)		本年度実績(千円)		増減理由 (10%以上の場合)		次年度予算(千円)		
	正職員	正職員	0.00	人	0	0.10	人	788	0.09	人	710
	任期付職員(保育士)	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	再任用フル	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	再任用短	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	嘱託職員	1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0	0.01	人	28
	臨時職員	1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
		2級パート		人		0.00	人	0	0.00	人	0
	人件費計(A)			0		788				738	
事業費	直接事業費(B)		0		419				3,000		
	総事業費(A+B)		0		1,207				3,738		
直接事業費のうち の主な歳出内訳			交付金		419				3,000		
			-		0				0		
財源内訳			使用料・手数料(受益者負担分)		0				0		
			国・県支出金		0				0		
			市債		0				0		
			一般財源		0		1,207		3,738		
			その他()								

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	市民の財産を守ることは行政の責務である。
	目的の妥当性	妥当	行政主体のハード整備事業によらない自助におけるハード整備の方法として妥当である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	市内全域の住居及び事務所を対象としているため、妥当である。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	事業費は補助金のみであり、また交付事務に対してのコストの効率化は見込めない。
	負担割合の適正化	適正	所有者への設置費の一部補助であるため、受益者の負担を求めているため、適正である。
	手段の最適性	最適	建物の事情に合わせた止水板の設置が必要となるため、止水板設置費用の補助が最適である。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	達成	申請があったにもかかわらず、施工が年度内に終了しないことがわかり、1件取り下げとなったものがあったが、その他申請があったものについてはすべて交付できた。止水板設置に関する相談は10件あり、市民の関心があることはわかった。
	上位施策への貢献度	貢献できた	止水板が2件設置され、上位施策の災害・減災対策の充実に貢献できた。
	事業継続の有効性	ある	減災効果を目的とした事業であり、一定程度の市民負担を要する事業のため、設置検討の時間も必要のため。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	
なし	なし	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

-			
---	--	--	--

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

成果	止水板設置補助金制度の周知を図り、市内の住宅・事業所等への止水板設置に繋げるため、市報やホームページ、SNS等を用いて広報を行った結果、相談は10件あったが、実際に申請・交付・設置に至った止水板は2件に留まった。
課題	止水板自体のイメージが湧かない市民もあり、また補助金交付事業についても全市民に周知されているとは言えない。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充				評価区分	事務事業の方向性		
	現状維持	④	②	①			一次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充
	縮小	③	⑤					
休・廃止	⑦	⑥		二次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充			
		休・廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト投入の方向性								

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	止水板設置費補助金交付事業の周知と併せて止水板自体やその減災効果について、これまで用いた広報媒体による継続的な周知に加えて、自治会の防災研修会やフリーペーパーを用いた広報を行う。
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	-

評価変更理由	担当課は記載しない。
--------	------------